70' 市政の足あと 70'

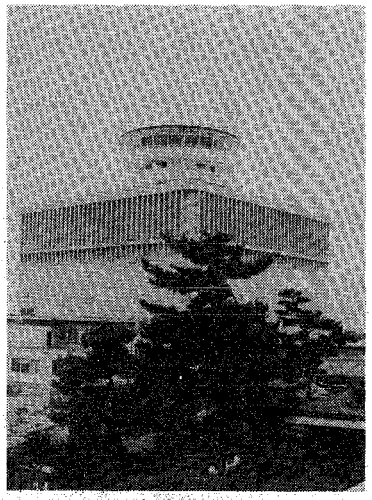
〝飛躍の年代〟―一九七〇年代の初年度を迎えた新潟市は、明るい市民生活の充実を図る一方、経済活動においても対岸貿易を中心として、国内・外に向け大きな第一歩をしるしました。

緑化推進運動、公害測定の本格化、老人福祉施設の建設、日本海タワーの建設、東港の大型船入港、新潟バイパスの一部開通など……。ことし一年間に起ったさまざまなできごとを、この紙面を通じ皆さんと振り返ってみましょう。

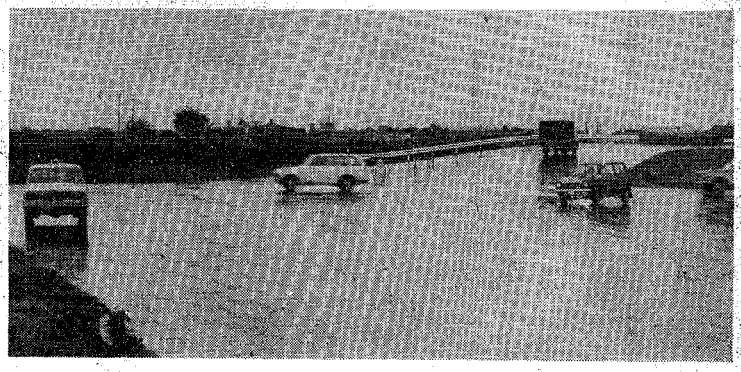
ことしのおもなニュース

老人福祉センター老人住宅を建設	お年寄りにミ張りのある老後をミ―これが市の願いです。老人福祉対策を最重点施策の一つにあげ，老人福祉センター・老人向け住宅を建設中。
日本海タワー8月にオープン	市内と日本海・佐渡を一望できる日本海タワーが，8月19日にオープン。早くも市民の散策の場となっています。
交通課を新設子ども達に道路を開放	新潟市から交通事故を追放するために，10月1日から交通課を新設。こどもたちに，交通事故のない遊び場をプレゼントしようと，8月から道路開放を実施。第1号は浦原横町通り。
新潟バイパスの1部12月に開通	新潟バイパスの1部区間（海老ケ瀬―紫竹間）が完成し，12月1日から2車線片側通行可能になりました。国道7号線の交通渋滞がさっそく緩和されました。
海女が魚に餌づけ	水族館で5月27日から海女による魚の餌づけを開始。魚と人間の夢の別世界を展開。
関屋分水路の橋名決まる	新潟市の明日をになう関屋分水の5つの橋の愛称を7月に一般公募。その結果，スケールが大きくふさわしい愛称が付きました。
本格的な公害測定を開始	昨年10月に新設された公害課が，ことしから本格的な公害測定を開始。数回の排気ガス調査の結果一酸化炭素量は全国的な基準を下まわっている。
緑化推進運動広ろまる	市内を緑と花で飾ろう―この機運が全市的に盛り上がり，海浜公園の記念植樹・駅前のグリーンベルトなど着々と植樹が進められた。
東港に大型船入港	昨年開港した東港に，外航第一船の渚丸が6月に，第5金購運丸が11月に入港。
急ピッチで進む道路舗装	今年度市道舗装予算は，3億千万円。舗装路線188 m，総延長約3万6千m。新潟バイパスと市内を直結する紫島線などがおもなもの。

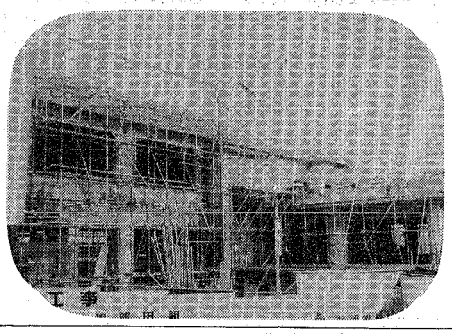
市内を見おろす南山の高台に，海抜63 mの日本海タワーが完成。

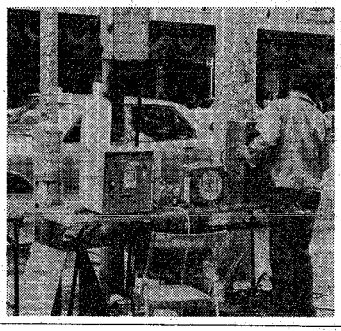


12月1日に片側通行可能になった新潟バイパス。区間延長は約5.5km。



来春3月完成を目指し，急ピッチで進められる老人福祉センターの建設。





市役所前の排気ガス調査。このほか，工場・自動車の騒音，工場排液なども調査。

道路開放「子供の楽園」第二号が附船町二丁目に誕生。

この欄の広告の取り扱いは新潟農業センター

安全・有利な農林中金の債券

最高です

ワリノー　1年貯蓄で最高（無記名）　利回り 年6.213%

リリノー　5年貯蓄で最高（無記名）　利回り 年7.638%

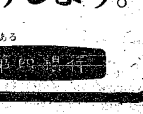
※農林債券は、あなたの貯蓄をいっそう大きく殖やします。

農林中央金庫新潟支所
新潟市寄居町344の1 〒951 TEL(0252)22-4151(代)

農林中央金庫新潟支所
日銀○　市役所○　信金小路　相互タクシー　東北電力　○大間生命　小林デパート○

この1年のご愛顧ほんとうにありがとうございました

来年も〈ダイ四〉は、
1世紀バンクの名に恥じない
心からのサービスを　お届けします。



東宝 高橋厚子

中央そばにある 第四銀行

※新年は、4日から、平常どおり営業いたします。